

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	約 9 年10カ月間（2013年 7 月10日～2023年 5 月12日）	
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビー ファンド	イ. インド・ルピー建ての債券 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの i. インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券 ii. 国際機関等が発行する債券 ※以下、イ. およびロ. の債券を総称して「インド債券等」といいます。 ハ. ダイワ・インド・ルピー マザーファンドの受益証券
ベビーファンドの運用方法	①主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ※インド債券等への投資に当っては、マザーファンドを通じて投資を行なう場合があります。 ②運用に当っては、以下の方針を基本とします。 イ. 投資対象は、次の債券とします。 i. インド・ルピー建ての債券 ii. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの a. インドの政府、政府関係機関および企業（※）が発行する債券 b. 国際機関等が発行する債券 ※インドの企業とは、インド国内に本社を置いている企業等、委託会社がインドの企業であると判断した企業とします。 （注）国際機関等が発行する債券への投資割合は、投資枠の獲得状況等によって高くなる場合があります。 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。 ハ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用に当っては、ダイワ・ポートフォリオ・アドバイザー（インド）プライベート・リミテッドおよび SBI Funds Management Private Limited の助言を受けます。 ④インド債券等の組入比率は、通常の状態では高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組 入 制 限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第 1 および第 2 計算期末には、収益の分配は行ないません。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

インド・ボンド・オープン （毎月決算型）

運用報告書（全体版）

第47期（決算日	2017年 6 月12日）
第48期（決算日	2017年 7 月12日）
第49期（決算日	2017年 8 月14日）
第50期（決算日	2017年 9 月12日）
第51期（決算日	2017年10月12日）
第52期（決算日	2017年11月13日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「インド・ボンド・オープン（毎月決算型）」は、このたび、第52期の決算を行ないました。

ここに、第47期～第52期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0 1 2 0 - 1 0 6 2 1 2

（営業日の 9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J PモルガンGB IーEMインド (円換算)		公 社 債 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 金 分 配	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
23期末(2015年 6 月12日)	12,699	60	3.2	13,309	2.7	98.5	186
24期末(2015年 7 月13日)	12,775	60	1.1	13,490	1.4	99.1	187
25期末(2015年 8 月12日)	12,880	60	1.3	13,653	1.2	98.5	203
26期末(2015年 9 月14日)	11,947	60	△ 6.8	12,872	△ 5.7	97.7	191
27期末(2015年10月13日)	12,308	60	3.5	13,338	3.6	96.8	197
28期末(2015年11月12日)	12,252	60	0.0	13,411	0.5	97.4	216
29期末(2015年12月14日)	11,790	60	△ 3.3	12,984	△ 3.2	97.4	207
30期末(2016年 1 月12日)	11,586	60	△ 1.2	12,870	△ 0.9	96.6	203
31期末(2016年 2 月12日)	10,742	60	△ 6.8	12,000	△ 6.8	97.0	188
32期末(2016年 3 月14日)	11,022	60	3.2	12,429	3.6	96.4	193
33期末(2016年 4 月12日)	10,815	60	△ 1.3	12,280	△ 1.2	96.6	190
34期末(2016年 5 月12日)	10,792	60	0.3	12,332	0.4	96.5	189
35期末(2016年 6 月13日)	10,512	60	△ 2.0	12,094	△ 1.9	96.4	185
36期末(2016年 7 月12日)	10,219	60	△ 2.2	11,849	△ 2.0	97.2	179
37期末(2016年 8 月12日)	10,519	60	3.5	12,345	4.2	96.9	185
38期末(2016年 9 月12日)	10,534	60	0.7	12,442	0.8	95.8	185
39期末(2016年10月12日)	10,670	60	1.9	12,730	2.3	94.7	187
40期末(2016年11月14日)	10,884	60	2.6	13,131	3.1	94.5	170
41期末(2016年12月12日)	11,811	60	9.1	14,394	9.6	95.1	149
42期末(2017年 1 月12日)	11,610	60	△ 1.2	14,227	△ 1.2	95.4	143
43期末(2017年 2 月13日)	11,463	60	△ 0.7	14,076	△ 1.1	95.7	137
44期末(2017年 3 月13日)	11,440	60	0.3	14,162	0.6	94.4	136
45期末(2017年 4 月12日)	11,297	60	△ 0.7	14,101	△ 0.4	94.5	120
46期末(2017年 5 月12日)	11,735	60	4.4	14,756	4.6	95.6	120
47期末(2017年 6 月12日)	11,671	60	△ 0.0	14,820	0.4	94.2	111
48期末(2017年 7 月12日)	11,919	60	2.6	15,191	2.5	95.4	114
49期末(2017年 8 月14日)	11,626	60	△ 2.0	14,878	△ 2.1	92.4	110
50期末(2017年 9 月12日)	11,698	60	1.1	15,024	1.0	91.3	110
51期末(2017年10月12日)	11,639	60	0.0	15,023	△ 0.0	95.6	91
52期末(2017年11月13日)	11,714	60	1.2	15,191	1.1	91.0	87

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) J Pモルガン GB IーEM インド (円換算) は、J Pモルガン GB IーEM インド (インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン GB IーEM インド (インド・ルピーベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved. これらは、直近で知り得るデータを使用しており、これに伴い第46期末のデータを修正しております。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

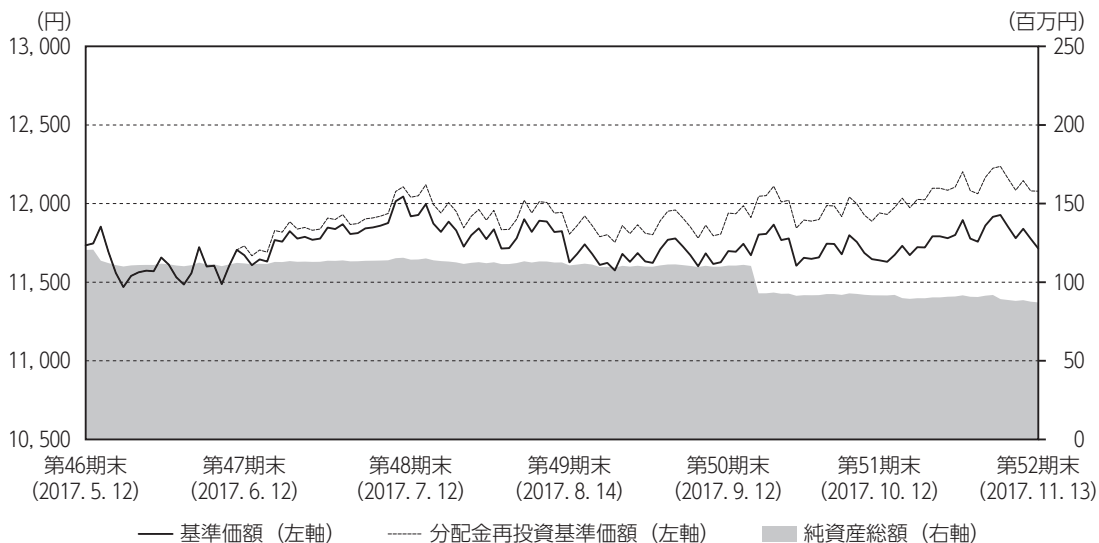
(注 4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第47期首：11,735円

第52期末：11,714円（既払分配金360円）

騰落率：2.9%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、インド・ルピーが対円で下落したことがマイナス要因となった一方で、債券の利息収入がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

インド・ボンド・オープン（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		J PモルガンGB IーEMインド (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第47期	(期首) 2017年 5 月12日	円 11,735	% —	14,756	% —	% 95.6
	5 月末	11,485	△ 2.1	14,439	△ 2.1	94.6
	(期末) 2017年 6 月12日	11,731	△ 0.0	14,820	0.4	94.2
第48期	(期首) 2017年 6 月12日	11,671	—	14,820	—	94.2
	6 月末	11,806	1.2	14,997	1.2	94.8
	(期末) 2017年 7 月12日	11,979	2.6	15,191	2.5	95.4
第49期	(期首) 2017年 7 月12日	11,919	—	15,191	—	95.4
	7 月末	11,714	△ 1.7	14,926	△ 1.7	95.9
	(期末) 2017年 8 月14日	11,686	△ 2.0	14,878	△ 2.1	92.4
第50期	(期首) 2017年 8 月14日	11,626	—	14,878	—	92.4
	8 月末	11,770	1.2	15,075	1.3	94.7
	(期末) 2017年 9 月12日	11,758	1.1	15,024	1.0	91.3
第51期	(期首) 2017年 9 月12日	11,698	—	15,024	—	91.3
	9 月末	11,658	△ 0.3	14,970	△ 0.4	93.8
	(期末) 2017年10月12日	11,699	0.0	15,023	△ 0.0	95.6
第52期	(期首) 2017年10月12日	11,639	—	15,023	—	95.6
	10月末	11,758	1.0	15,201	1.2	94.4
	(期末) 2017年11月13日	11,774	1.2	15,191	1.1	91.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 5. 13 ～ 2017. 11. 13)

■インド債券市況

インド債券金利は上昇しました。

当作成期間の前半は、インフレ率が低下する中で政策金利が引き下げられ金利は低下しました。後半は、GDP（国内総生産）成長率が市場予想を下回る中で、政府関係者から景気刺激のために財政目標を緩和することが示唆されたことや、不良債権問題の解決のために政府から国営金融機関への資本注入計画が発表されたことにより、金利は長期を中心に上昇しました。

■為替相場

インド・ルピー為替相場は対円で下落しました。

当作成期間の前半は、地方選挙後に買い進まれた反動からルピーは対円で下落しましたが、後半は不良債権問題への対策が好感され上昇しました。しかし当作成期間末にかけては、GST（物品・サービス税）の税率変更が政府歳入に及ぼす影響への懸念から下落に転じました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券等を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

ポートフォリオについて

(2017. 5. 13 ~ 2017. 11. 13)

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券等を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

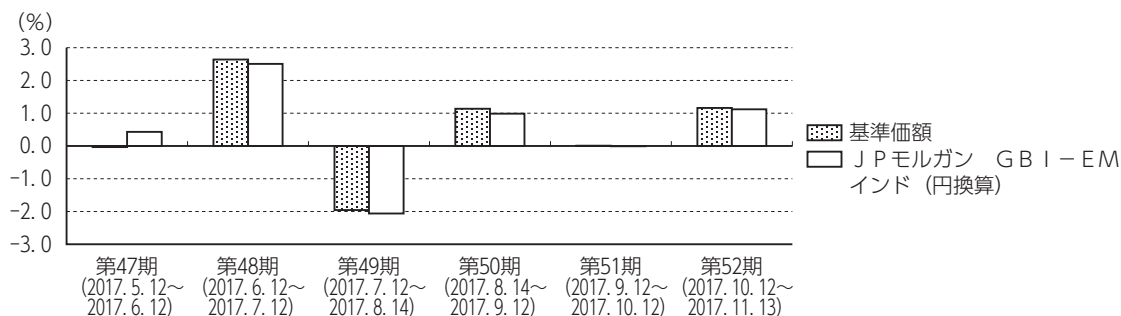
■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建ての債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

第47期から第52期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ60円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2017年5月13日 ～2017年6月12日	2017年6月13日 ～2017年7月12日	2017年7月13日 ～2017年8月14日	2017年8月15日 ～2017年9月12日	2017年9月13日 ～2017年10月12日	2017年10月13日 ～2017年11月13日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率（％）	0.51	0.50	0.51	0.51	0.51	0.51
当期の収益（円）	49	60	49	51	41	59
当期の収益以外（円）	10	—	10	8	18	0
翌期繰越分配対象額（円）	2,803	2,805	2,795	2,786	2,767	2,767

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	49.62円	61.77円	49.90円	51.02円	41.59円	59.68円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,812.87	2,803.56	2,803.57	2,795.29	2,786.32	2,768.17
(d) 分配準備積立金	1.06	0.00	1.77	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,863.56	2,865.34	2,855.25	2,846.31	2,827.91	2,827.85
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,803.56	2,805.34	2,795.25	2,786.31	2,767.91	2,767.85

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券等を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

1万口当りの費用の明細

項 目	第47期～第52期 (2017. 5. 13～2017. 11. 13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	87円	0. 740%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11, 736円です。
(投 信 会 社)	(39)	(0. 331)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(45)	(0. 387)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0. 022)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	9	0. 075	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(6)	(0. 048)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(3)	(0. 023)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	96	0. 815	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年5月13日から2017年11月13日まで)

決 算 期	第 47 期 ～ 第 52 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	300	621	18,454	37,706

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第47期～第52期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	第46期末	第 52 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	59,832	41,678	86,720

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年6月12日)、(2017年7月12日)、(2017年8月14日)、(2017年9月12日)、(2017年10月12日)、(2017年11月13日)現在

項 目	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末
(A) 資産	112,651,587円	115,047,676円	111,395,949円	111,274,585円	92,207,714円	88,192,672円
コール・ローン等	1,229,303	1,240,468	1,235,491	1,213,361	505,328	935,890
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド（評価額）	111,422,284	113,807,208	110,160,458	110,061,224	91,188,238	86,720,602
未収入金	—	—	—	—	514,148	536,180
(B) 負債	714,554	711,760	721,345	697,063	590,762	1,051,490
未払収益分配金	575,480	575,587	571,187	567,162	472,285	446,326
未払解約金	—	—	—	—	—	486,280
未払信託報酬	138,321	134,674	147,851	126,898	114,846	114,626
その他未払費用	753	1,499	2,307	3,003	3,631	4,258
(C) 純資産総額（A－B）	111,937,033	114,335,916	110,674,604	110,577,522	91,616,952	87,141,182
元本	95,913,352	95,931,171	95,197,996	94,527,144	78,714,260	74,387,778
次期繰越損益金	16,023,681	18,404,745	15,476,608	16,050,378	12,902,692	12,753,404
(D) 受益権総口数	95,913,352口	95,931,171口	95,197,996口	94,527,144口	78,714,260口	74,387,778口
1万口当り基準価額（C／D）	11,671円	11,919円	11,626円	11,698円	11,639円	11,714円

* 第46期末における元本額は102,718,224円、当作成期間（第47期～第52期）中における追加設定元本額は706,188円、同解約元本額は29,036,634円です。

* 第52期末の計算口数当りの純資産額は11,714円です。

■投資信託財産の構成

2017年11月13日現在

項 目	第 52 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	86,720	98.3
コール・ローン等、その他	1,472	1.7
投資信託財産総額	88,192	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月13日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝113.68円、1インド・ルピー＝1.76円です。

(注3) ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて、第52期末における外貨建純資産（4,309,445千円）の投資信託財産総額（4,519,671千円）に対する比率は、95.3%です。

■特定資産の価格等の調査

当ファンドの主要投資対象であるダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて行なった取引のうち、投資信託および投資法人に関する法律により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、あずさ監査法人へその調査を委託しました。対象期間中（2017年5月13日～2017年11月13日）に該当した取引は、直物為替先渡取引が17件あり、該当取引については当該監査法人からの調査報告書を受領しました。

なお、直物為替先渡取引については、取引の相手方の名称、通貨の種類、売買の別、想定元本、満期日その他当該取引の内容に関することについて調査を委託しました。

■損益の状況

第47期 自 2017年 5月13日 至 2017年 6月12日		第48期 自 2017年 6月13日 至 2017年 7月12日		第49期 自 2017年 7月13日 至 2017年 8月14日		第50期 自 2017年 8月15日 至 2017年 9月12日		第51期 自 2017年 9月13日 至 2017年10月12日		第52期 自 2017年10月13日 至 2017年11月13日	
項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第51期	第52期	第51期	第52期	
(A) 配当等収益	△ 24円	△ 11円	△ 13円	△ 12円	△ 2円	△ 1円	△ 2円	△ 1円	△ 2円	△ 1円	
支払利息	△ 24	△ 11	△ 13	△ 12	△ 2	△ 1	△ 2	△ 1	△ 2	△ 1	
(B) 有価証券売買損益	100, 642	3, 089, 105	△ 2, 067, 443	1, 377, 913	125, 044	1, 114, 390	125, 044	1, 114, 390	125, 044	1, 114, 390	
売買益	115, 167	3, 089, 105	7, 242	1, 382, 836	163, 330	1, 193, 105	163, 330	1, 193, 105	163, 330	1, 193, 105	
売買損	△ 14, 525	—	△ 2, 074, 685	△ 4, 923	△ 38, 286	△ 78, 715	△ 38, 286	△ 78, 715	△ 38, 286	△ 78, 715	
(C) 信託報酬等	△ 139, 074	△ 135, 420	△ 148, 659	△ 127, 594	△ 115, 474	△ 115, 253	△ 115, 474	△ 115, 253	△ 115, 474	△ 115, 253	
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 38, 456	2, 953, 674	△ 2, 216, 115	1, 250, 307	9, 568	999, 137	9, 568	999, 137	9, 568	999, 137	
(E) 前期繰越損益金	△ 8, 812, 211	△ 9, 336, 850	△ 6, 903, 712	△ 9, 532, 655	△ 7, 296, 955	△ 7, 149, 193	△ 7, 296, 955	△ 7, 149, 193	△ 7, 296, 955	△ 7, 149, 193	
(F) 追加信託差損益金	25, 449, 828	25, 363, 508	25, 167, 622	24, 899, 888	20, 662, 364	19, 349, 786	20, 662, 364	19, 349, 786	20, 662, 364	19, 349, 786	
(配当等相当額)	(26, 979, 187)	(26, 894, 957)	(26, 689, 495)	(26, 423, 089)	(21, 932, 330)	(20, 591, 850)	(21, 932, 330)	(20, 591, 850)	(21, 932, 330)	(20, 591, 850)	
(売買損益相当額)	(△ 1, 529, 359)	(△ 1, 531, 449)	(△ 1, 521, 873)	(△ 1, 523, 201)	(△ 1, 269, 966)	(△ 1, 242, 064)	(△ 1, 269, 966)	(△ 1, 242, 064)	(△ 1, 269, 966)	(△ 1, 242, 064)	
(G) 合計 (D + E + F)	16, 599, 161	18, 980, 332	16, 047, 795	16, 617, 540	13, 374, 977	13, 199, 730	13, 374, 977	13, 199, 730	13, 374, 977	13, 199, 730	
(H) 収益分配金	△ 575, 480	△ 575, 587	△ 571, 187	△ 567, 162	△ 472, 285	△ 446, 326	△ 472, 285	△ 446, 326	△ 472, 285	△ 446, 326	
次期繰越損益金 (G + H)	16, 023, 681	18, 404, 745	15, 476, 608	16, 050, 378	12, 902, 692	12, 753, 404	12, 902, 692	12, 753, 404	12, 902, 692	12, 753, 404	
追加信託差損益金	25, 360, 531	25, 363, 508	25, 088, 368	24, 815, 027	20, 517, 459	19, 347, 429	20, 517, 459	19, 347, 429	20, 517, 459	19, 347, 429	
(配当等相当額)	(26, 889, 890)	(26, 894, 957)	(26, 610, 241)	(26, 338, 228)	(21, 787, 425)	(20, 589, 493)	(21, 787, 425)	(20, 589, 493)	(21, 787, 425)	(20, 589, 493)	
(売買損益相当額)	(△ 1, 529, 359)	(△ 1, 531, 449)	(△ 1, 521, 873)	(△ 1, 523, 201)	(△ 1, 269, 966)	(△ 1, 242, 064)	(△ 1, 269, 966)	(△ 1, 242, 064)	(△ 1, 269, 966)	(△ 1, 242, 064)	
分配準備積立金	—	17, 027	—	—	—	—	—	—	—	—	
繰越損益金	△ 9, 336, 850	△ 6, 975, 790	△ 9, 611, 760	△ 8, 764, 649	△ 7, 614, 767	△ 6, 594, 025	△ 7, 614, 767	△ 6, 594, 025	△ 7, 614, 767	△ 6, 594, 025	

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	475, 963円	592, 614円	475, 041円	482, 301円	327, 380円	443, 969円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	26, 979, 187	26, 894, 957	26, 689, 495	26, 423, 089	21, 932, 330	20, 591, 850
(d) 分配準備積立金	10, 220	0	16, 892	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	27, 465, 370	27, 487, 571	27, 181, 428	26, 905, 390	22, 259, 710	21, 035, 819
(f) 分配金	575, 480	575, 587	571, 187	567, 162	472, 285	446, 326
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	26, 889, 890	26, 911, 984	26, 610, 241	26, 338, 228	21, 787, 425	20, 589, 493
(h) 受益権総口数	95, 913, 352口	95, 931, 171口	95, 197, 996口	94, 527, 144口	78, 714, 260口	74, 387, 778口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円
（単 価）	(11, 671円)	(11, 919円)	(11, 626円)	(11, 698円)	(11, 639円)	(11, 714円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

運用報告書 第6期（決算日 2017年11月13日）

（計算期間 2016年11月15日～2017年11月13日）

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. インド・ルピー建ての債券 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの i. インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券 ii. 国際機関等が発行する債券 ※以下、イ. およびロ. の債券を総称して「インド債券等」といいます。
運用方法	①主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ. 投資対象は、次の債券とします。 i. インド・ルピー建ての債券 ii. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの a. インドの政府、政府関係機関および企業（※）が発行する債券 b. 国際機関等が発行する債券 ※インドの企業とは、インド国内に本社を置いている企業等、委託会社がインドの企業であると判断した企業とします。 （注）国際機関等が発行する債券への投資割合は、投資枠の獲得状況等によって高くなる場合があります。 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。 ハ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・ポートフォリオ・アドバイザリー（インド）プライベート・リミテッドおよびSBI Funds Management Private Limitedの助言を受けます。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

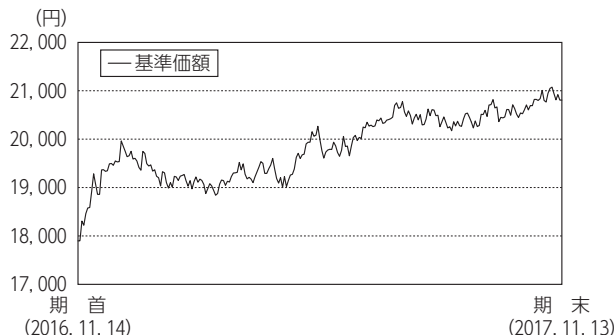
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		J P モルガン G B I - E M インド (円換算)		公 社 債 組入比率
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	
(期首) 2016年11月14日	17,898	—	17,658	—	95.0
11月末	18,860	5.4	18,648	5.6	94.9
12月末	19,359	8.2	19,151	8.5	94.4
2017年1月末	19,147	7.0	18,915	7.1	95.1
2月末	18,877	5.5	18,589	5.3	94.3
3月末	19,535	9.1	19,296	9.3	95.8
4月末	19,600	9.5	19,369	9.7	93.3
5月末	19,646	9.8	19,417	10.0	95.1
6月末	20,327	13.6	20,167	14.2	95.1
7月末	20,296	13.4	20,073	13.7	96.3
8月末	20,524	14.7	20,272	14.8	95.1
9月末	20,459	14.3	20,132	14.0	94.2
10月末	20,768	16.0	20,442	15.8	94.9
(期末) 2017年11月13日	20,807	16.3	20,429	15.7	91.4

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J P モルガン G B I - E M インド (円換算) は、J P モルガン G B I - E M インド (インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J P モルガン G B I - E M インド (インド・ルピーベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：17,898円 期末：20,807円 騰落率：16.3%

【基準価額の主な変動要因】

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、債券価格の下落がマイナス要因となりましたが、債券の利息収入に加えてインド・ルピーが対円で上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド債券市況

期の初めは、インド政府が高額紙幣の廃止を発表したことや、廃止した高額紙幣の両替に制限を設けたことで、市中に流通する資金が減り、銀行に滞留した運用資金が国債に向かったことにより、インド国内の金利は低下しました。その後、インド準備銀行 (中央銀行) が、2017年2月に政策スタンスを「緩和的」から「中立的」に変更したこと、4月には将来的なインフレ圧力の上昇に警戒感を示したことなどを背景に、金利は上昇しました。5月以降は、インフレ率が低下する中で政策金利が引き下げられ金利は低下しましたが、GDP (国内総生産) 成長率が市場予想を下回る中で、政府関係者から景気刺激のために財政目標を緩和することが示唆されたことや、不良債権問題の解決のために政府から国営金融機関への資本注入計画が発表されたことにより、金利は長期を中心に上昇しました。

○為替相場

期の初めは、高額紙幣の廃止をめぐる懸念がインド・ルピーを圧迫しましたが、中央銀行の介入などでルピーが下支えされたほか、中央銀行が政策金利を予想に反し据え置いたことでルピーは反発しました。その後は、政府の予算案が、財政健全化の方向性を維持しつつ道路や鉄道などのインフラ (社会基盤) 投資を重視する内容となったことが、ルピーの上昇要因となりました。また、フランス大統領選挙を経てフランスのEU (欧州連合) 離脱懸念が後退し、リスクセンチメントが改善したことを受けて、ルピーは対円で上昇しました。期の後半は、それまでの上昇の反動から一時的に下落しましたが、不良債権問題への対策が好感されて上昇に転じました。しかし、期末にかけてGST (物品・サービス税) の税率変更が政府歳入に及ぼす影響への懸念からやや下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

◆ポートフォリオについて

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基

「準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

【今後の運用方針】

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用	27
（保管費用）	(19)
（その他）	(8)
合 計	27

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄
公 社 債

当 期		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
India Government Bond (インド) 6.62% 2051/11/28	243, 281	Oil India International Pte Ltd (シンガポール) 4% 2027/4/21	114, 916
ICICI Bank Ltd (インド) 7.6% 2023/10/7	188, 931	Hindustan Petroleum Corp Ltd (インド) 4% 2027/7/12	114, 838
HDFC Bank Ltd (インド) 7.95% 2026/9/21	178, 404	Rural Electrification Corp Ltd (インド) 3.875% 2027/7/7	113, 970
India Government Bond (インド) 6.79% 2027/5/15	176, 386	India Government Bond (インド) 7.72% 2055/10/26	87, 797
India Government Bond (インド) 6.97% 2026/9/6	173, 397	Adani Transmission Ltd (インド) 4% 2026/8/3	86, 169
Bharti Airtel Ltd (インド) 4.375% 2025/6/10	122, 628	Bank of India/London (インド) 3.625% 2018/9/21	70, 106
Hindustan Petroleum Corp Ltd (インド) 4% 2027/7/12	111, 888	Axis Bank Ltd/Dubai (インド) 2.875% 2021/6/1	61, 914
Oil India International Pte Ltd (シンガポール) 4% 2027/4/21	111, 508	Bharti Airtel Ltd (インド) 4.375% 2025/6/10	61, 863
Adani Transmission Ltd (インド) 4% 2026/8/3	111, 102	HDFC Bank Ltd/Bahrain (インド) 3% 2018/3/6	41, 688
Rural Electrification Corp Ltd (インド) 3.875% 2027/7/7	110, 449	ICICI Bank Ltd/Dubai (インド) 4.7% 2018/2/21	22, 998

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2016年11月15日から2017年11月13日まで)

		買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 147 (—)
		6, 601	6, 427 (—)
国	インド	千インド・ルピー 554, 242	千インド・ルピー 50, 750 (—)
		518, 898	— (—)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注 4) 単位未満は切捨て。

(2) 直物為替先渡取引

(2016年11月15日から2017年11月13日まで)

種 類	取 引 契 約 金 額	
	買 建	売 建
	百万円	百万円
直物為替先渡取引	5, 550	1, 316

(注 1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。

(注 2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期	当 期				末			
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 比率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 3,420	千アメリカ・ドル 3,604	千円 409,785	% 9.1	% —	% 4.3	% 3.7	% 1.1
インド	千インド・ルピー 2,010,000	千インド・ルピー 2,113,663	千円 3,720,047	% 82.3	% —	% 74.3	% 8.1	% —
合 計	—	—	4,129,833	91.4	—	78.6	11.7	1.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

当 期				末			
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
アメリカ	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	% 1.0000	千アメリカ・ドル 100	千アメリカ・ドル 99	千円 11,312	2018/10/05
	Oil India Ltd	社 債 券	5.3750	200	222	25,319	2024/04/17
	Bharti Airtel Ltd	社 債 券	4.3750	800	811	92,298	2025/06/10
	Bharat Petroleum Corp Ltd	社 債 券	4.6250	650	692	78,731	2022/10/25
	Adani Transmission Ltd	社 債 券	4.0000	250	250	28,437	2026/08/03
	Reliance Holdings USA Inc	社 債 券	5.4000	700	768	87,369	2022/02/14
	State Bank of India London	社 債 券	4.8750	400	433	49,261	2024/04/17
	INDIAN RAILWAY FINANCE CORP LTD	社 債 券	3.9170	320	325	37,053	2019/02/26
	銘柄数	8銘柄					
	金 額			3,420	3,604	409,785	
インド	India Government Bond	国債証券	% 9.1500	千インド・ルピー 50,000	千インド・ルピー 55,762	千円 98,141	2024/11/14
	India Government Bond	国債証券	8.3300	100,000	108,081	190,222	2026/07/09
	India Government Bond	国債証券	8.9700	150,000	170,907	300,796	2030/12/05
	India Government Bond	国債証券	7.1600	50,000	50,739	89,300	2023/05/20
	India Government Bond	国債証券	8.3200	50,000	54,262	95,501	2032/08/02
	India Government Bond	国債証券	8.2800	100,000	107,955	190,000	2027/09/21
	India Government Bond	国債証券	8.3000	100,000	108,775	191,444	2042/12/31
	India Government Bond	国債証券	9.2300	100,000	121,047	213,042	2043/12/23
	India Government Bond	国債証券	9.2000	50,000	57,731	101,607	2030/09/30
	India Government Bond	国債証券	8.1700	100,000	107,993	190,067	2044/12/01
	India Government Bond	国債証券	6.6200	150,000	137,185	241,446	2051/11/28
	India Government Bond	国債証券	6.7900	100,000	98,910	174,081	2027/05/15
	India Government Bond	国債証券	7.6100	50,000	51,610	90,833	2030/05/09
	India Government Bond	国債証券	6.8400	50,000	50,241	88,424	2022/12/19
	India Government Bond	国債証券	6.9700	100,000	100,208	176,366	2026/09/06
	Food Corp of India	特殊債券	9.9500	50,000	54,946	96,705	2022/03/07
	EXPORT IMPORT BANK OF INDIA	特殊債券	8.1500	50,000	52,094	91,686	2030/01/21
	Power Grid Corp of India Ltd	社 債 券	7.8900	50,000	51,384	90,436	2027/03/09
	Power Finance Corp Ltd	社 債 券	9.7000	50,000	52,398	92,220	2020/01/31
	HDFC Bank Ltd	社 債 券	7.9500	100,000	101,904	179,351	2026/09/21
	ICICI Bank Ltd	社 債 券	7.6000	110,000	110,165	193,890	2023/10/07

区 分		当 期			末		
		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
						千円	千円
		Axis Bank Ltd	社 債 券	7.6000	50,000	49,959	87,928
		Axis Bank Ltd	社 債 券	8.8500	50,000	53,224	93,674
		Housing Development Finance Corp Ltd	社 債 券	8.2000	50,000	51,003	89,766
		LIC Housing Finance Ltd	社 債 券	7.5850	50,000	48,715	85,739
		INDIAN RENEW ENERGY DEV	社 債 券	8.0500	50,000	52,070	91,643
		NTPC Ltd	社 債 券	9.1700	50,000	54,391	95,729
通貨小計	銘柄数	27銘柄					
	金 額				2,010,000	2,113,663	3,720,047
合 計	銘柄数	35銘柄					
	金 額						4,129,833

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(3) 直物為替先渡取引残高

2017年11月13日現在

種 類	取 引 契 約 残 高	
	想 定 元 本 額	
	買 建	売 建
直物為替先渡取引	百万円	百万円
	420	—

(注 1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年11月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	4,129,833	91.4
コール・ローン等、その他	389,837	8.6
投資信託財産総額	4,519,671	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月13日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝113.68円、1インド・ルピー＝1.76円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産（4,309,445千円）の投資信託財産総額（4,519,671千円）に対する比率は、95.3％です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年11月13日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,519,671,533円
コール・ローン等	273,962,507
公社債（評価額）	4,129,833,728
未収利息	87,597,965
前払金	371,635
前払費用	27,905,698
(B) 負債	1,389,632
未払金	718,452
未払解約金	536,180
その他未払費用	135,000
(C) 純資産総額（A－B）	4,518,281,901
元本	2,171,533,554
次期繰越損益金	2,346,748,347
(D) 受益権総口数	2,171,533,554口
1万口当り基準価額（C／D）	20,807円

* 期首における元本額は1,282,098,195円、当期中における追加設定元本額は1,248,879,204円、同解約元本額は359,443,845円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、インド・ボンド・オープン（毎月決算型）41,678,571円、ダイワ・インド・ルピー債オープン（毎月分配型）2,129,854,983円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は20,807円です。

■損益の状況

当期 自 2016年11月15日 至 2017年11月13日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	204, 502, 031円
受取利息	204, 539, 193
支払利息	△ 37, 162
(B) 有価証券売買損益	192, 941, 529
売買益	264, 549, 697
売買損	△ 71, 608, 168
(C) 先物取引等損益	25, 411, 092
取引益	46, 362, 375
取引損	△ 20, 951, 283
(D) その他費用	△ 4, 337, 346
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	418, 517, 306
(F) 前期繰越損益金	1, 012, 565, 585
(G) 解約差損益金	△ 358, 626, 984
(H) 追加信託差損益金	1, 274, 292, 440
(I) 合計 (E + F + G + H)	2, 346, 748, 347
次期繰越損益金 (I)	2, 346, 748, 347

(注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。